

消費税アップを契機に POSシステムと自動釣銭機を導入



▲チーフの武藤佳祐氏

精算業務の効率化と フレキシブルな料金設定

今回の「スーパースターシリーズ」導入レポートは、「カラオケ10番小岩店」(東京都江戸川区南小岩)である。同店を運営する(有)創起は、「カラオケ10番」ブランドで都内4か所(小岩店、金町店、十条店、高砂店)、千葉県1か所(幕張本郷店)の計5店舗のカラオケボックスを展開し、地域密着型運営で好業績を上げている。JR総武線小岩駅南口から徒歩数分の商店街に立地する小岩店はルーム数15室で、近隣にバーやキャバクラなどの飲食店が集積しているため24時間営業を実施し、周辺地域のカラオケニーズの取込みに成功している。



▲今年2月に導入した「スーパースターシリーズ」のPOSシステム



▲POSシステムとともに自動釣銭機も導入し、精算業務の効率化を図った

小岩店チーフの武藤佳祐氏は、スーパースターシリーズの導入経緯について、次のように語る。「当社では4月からの消費税アップに向けてフロントPOSシステムの採用を計画していましたが、昨年11月のレジャー&サービス産業展2013の展示会場でスターランドさんのスーパースターシリーズを見て、豊富な実績と信頼性も高いことから導入を決めました」。

消費税増税は仕入れ原価上昇によるコストアップ要因となり、利益率の低下を招くため、その対策が早急に求められるが、小岩店の場合は特別な事情もあった。それは、精算システムである。

小岩店では、スーパースターシリーズ導入前からルーム料金については前金制を敷いており、フロントでスタッフに直接料金を支払うか、フロント前に置かれた自動券売機でチケットを購入して受付を行なうかの2通りの方法を採用していた。いずれの方法を選ぶかは利用客の自由だが、自動券売機では100円単位でのチケット販売となり、このシステムでは



消費税増税後の料金設定に柔軟な対応ができないという問題が生じるため、増税を契機に

◀ルーム料金の明朗化の観点から長く使用していた自動券売機。ルーム料金の前金制は継続している



▲内装デザインにこだわり、清潔感溢れる店内は利用客に好評

POSシステムの導入に踏み切ったのである。ルーム料金は4月以降も3時間500円(平日10時~18時、1人当たり)と以前と同じだが、この6月を目途に消費税増税を考慮した新たな料金体系を計画している。そして精算業務の効率化も図るため、自動釣銭機も併せて採用した。

スーパースターシリーズの稼働から約3か月が経過するが、飲食オーダーの受注や売上げ管理の業務も格段に軽減され、武藤氏はその導入効果を実感している。

「スーパースターシリーズ」 とは

(株)スターランドが開発・販売するPOSシステム「スーパースターシリーズ」は、カラオケボックスほか、複合カフェ、温浴施設、飲食店など各業界向けバージョンがラインナップされ、その導入施設から高い評価を受けている。

問い合わせ

(株)スターランド
〒426-0037
静岡県藤枝市青木3-14-1

☎0120-007-009
FAX▶054-644-5034
URL▶<http://www.starland.co.jp>